

施策に関連する主な事業の説明資料

資料 2

【施策 3-1：妊娠から子育てまでの切れ目のない支援】

事業名	子育て世代包括支援事業
事業概要	親と子の健康保持・増進を図るため、健康診査や育児相談など、育児不安の解消や親子関係の向上を図る。 また、子育て世代包括支援センターにおいて、子育て期間を並走し、妊娠、出産から育児期を通して切れ目のない支援を行う。
R 5 実績	・事業や訪問の再開により、きめ細やかな対応ができた。
R 5 課題	・育児の孤立化は解消できていないため、子育てのきめ細やかな支援は必要と感じる。
その他	・3歳児健康診査時に、スクリーニング機器を使用した屈折検査を実施した。 ・産婦健康診査への費用助成及び産後ケアとして産婦のショートステイや居宅訪問を実施した。 ・ヤングケアラーやひとり親の家庭等で、家事または育児等の日常生活に支障をきたし、支援が必要と認められる世帯にヘルパーの派遣を行った。

事業名	育児発達支援事業
事業概要	健診や相談で課題があった親子に親子支援教室や育児発達支援教室を実施し、療育的な支援を行う。また、保育園や幼稚園従事者への支援も行う。
R 5 実績	・こどもの状況に応じ、教室を展開した。参加した親子の出席率は高く、満足度は高い。
R 5 課題	・発達のフォローが必要なお子さんや家庭が増えているが、保護者の就労などで教室参加が叶わない状況にある。教室やフォロー体制の在り方を検討する必要がある。
その他	—

事業名	教育相談・教育支援室事業
事業概要	心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行うとともに、不登校児童・生徒への支援を行う。
R 5 実績	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを派遣型から学校常駐型に変更したことで、困り感や悩みを抱える児童生徒に対して、これまで以上に早期発見できるようになった。また、校内の教職員と専門職が連携しやすくなり、教育相談体制の充実につながった。
R 5 課題	・心理検査依頼件数が増えている、勤務時間内では対応できないケースが増えている。心理検査を円滑に行うための体制整備が必要である。
その他	—

施策に関連する主な事業の説明資料

事業名	小児医療費助成事業
事業概要	小児にかかる医療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を行い小児の健康の増進を図る。
R 5 実績	・適性に医療証の随時発行、医療費の支払いを行い、年度途中において令和 6 年度当初からの対象年齢引き上げを決め、これに必要な新医療証の発行業務を行った。
R 5 課題	・令和 5 年度までに県内多くの自治体が対象年齢を 18 歳まで延長したが、当町においても令和 6 年 4 月診療からの拡大を実施しており、今後は国県での制度統一や補助拡充を求めている。
その他	－

事業名	ひとり親世帯関係経費
事業概要	ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として医療費を助成するとともに、これらの家庭において緊急一時ヘルパーを必要とする場合、助成する。
R 5 実績	・ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として 121 世帯へ医療証を交付し、助成を行った。
R 5 課題	・就労面での制約が出やすいひとり親世帯にとって、医療費助成は経済的な支援として大きな安心感につながる事業であり、引き続き適切な制度運営に努める。
その他	－

施策に関連する主な事業の説明資料

【施策 3-2：仕事と子育ての両立支援】

事業名	子ども・子育て支援給付経費
事業概要	児童福祉の向上を図るため、民間保育所の運営に係る経費を給付する。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き保育の需要は高く、年度当初においては待機児童なく運営はできているものの、年度途中の新規需要に対し供給が見合わず年度末時点で待機4名が発生した。 ・保育士人材の確保を図るため、町内民間保育所に勤務する採用1年目及び2年目の保育士に就労支援金を給付した。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の増加により保育所の需要増加と幼稚園の需要減少が続くが、少子化に伴う未就学児自体の減少状況にも注視して適切な事業運営に努め、引き続き民間保育所の入所希望者の円滑な受け入れを図る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士就労支援給付金…900,000円（1年目：120,000円×4名、2年目：60,000円×7名）

事業名	子育てサロン及び一時預かり運営事業
事業概要	子育て支援の充実を図るため、子育てサロン及び一時預かりを社会福祉法人に委託し、運営の安定化を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立しがちな保育園・幼稚園入園前の乳幼児の保護者などの交流の場として、また育児等への悩みや不安を軽減するための一助として事業運営を行った。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も施設や制度の周知・利用促進に努めるとともに、保育所利用者の増加に伴う未就園児の減少などを考慮し、町内にある2つの子育てサロンと3つの一時預かりの在り方を検討する。
その他	—

事業名	子育て支援対策事業
事業概要	子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画を策定するとともに、進捗状況の把握などを行っていく。また、子育て支援に関する事業を行う。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年末にこども大綱が示され、これにより次期計画をこども計画とすることが努力義務とされたが、今年度においては、令和5年度から2か年で策定を予定していた従来の子ども・子育て支援事業計画についての策定作業を進めた。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度予算として、従来計画策定分に加えてこども計画とするために要す経費を盛り込み、あわせて子ども・子育て会議へ諮りながら、計画策定まで適正に執行する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度までの継続事業として、アンケートの調査や分析等、子ども・子育て支援事業計画の策定作業に着手した。 ・紙おむつの処分に係る費用の補助として、2歳未満の子どもがいる世帯に町指定家庭用ごみ袋を配付した。

施策に関連する主な事業の説明資料

事業名	病後児保育事業
事業概要	病気の回復期にある児童が、集団保育及び家庭での保育が困難な場合において、適切な施設で一時的に保育を実施する。
R 5 実績	・未就学の病後児保育登録者数が 29 人、年間利用件数が 31 件であり、病後児の保育支援に一定の効果が得られた。
R 5 課題	・共働き世帯の増加により、病後児保育の需要は高まっており、事業の有益性は利用者から評価されているが、今後も幼稚園・保育園におけるチラシ配付や広報紙掲載等の周知に努めていく。
その他	－

事業名	学童保育所維持管理経費
事業概要	町内 3 か所の学童保育所の運営を社会福祉法人に委託し、また、民間学童保育所に補助を実施し、学童保育の運営について安定化を図る。
R 5 実績	・公設民営 3 学童と民設民営 1 学童について、委託・補助事業者とともに適切な運用を行い、321 人の児童に保育を提供できた。
R 5 課題	・共働き世帯からの需要が増加しているが、将来的に少子化に伴って減少に転じることも想定し、委託事業者・民間学童保育所と連携し適切な事業運営に努め、引き続き希望者の円滑な受け入れを図る。
その他	－

施策に関連する主な事業の説明資料

【施策 4-1：地域商工業の活性化】

事業名	商工業振興対策経費
事業概要	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会をはじめ、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰の影響に対する補助事業（プレミアム商品券）の実施や商工会、金融機関と連携し、創業支援を行い、事業者への支援を図った。 ・二宮ブランド認定商品の普及啓発を目的として各種販売会を実施した。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の高齢化が進んでおり、事業継承に関する検討が必要になるが、繊細な内容のため、情報発信に留まっている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「湘南オリーブオイル」の周知性をより高めるため、二宮町商工会と連携して「湘南オリーブオイル」の地域団体商標取得に向けた取り組みを推進した。 ・「湘南オリーブオイル」は令和6年4月4日付で地域団体商標を取得した。

事業名	中小企業金融対策事業
事業概要	事業資金の貸付制度の運用、また貸付に伴う信用保証料や利子を補助し、町内事業者の育成を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業や創業者に対し、運転資金や設備資金の融資による下支えを行い、また、利子補助制度や信用保証料補助制度により、事業支援に努めた。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
その他	—

施策に関連する主な事業の説明資料

【施策 4-2：地域農林業の活性化】

事業名	農業振興事業
事業概要	農地の担い手の育成や各種団体の育成及び協議会等への支援を推進するとともに、地元農産物の地産地消を促進し、農業の振興を図る。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定し、「地域計画」を一色地区で策定した。 ・物価高騰に伴う燃油高騰対策として、施設園芸農業者に対し燃油購入費用の一部を支援した。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に農業の担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き新規就農者の確保に努める。
その他	－

事業名	遊休・荒廃農地対策事業
事業概要	遊休・荒廃農地を解消し、農地の保全に努める。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町補助金による支援により、遊休農地の一部解消及び農業経営の担い手へ農地を集約することができた。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き遊休荒廃農地の解消、新規就農者の確保に努める。
その他	－

事業名	特産物普及奨励事業（農業再生事業）
事業概要	落花生とオリーブの生産農業者に補助を実施し、生産意欲の向上を図り、町の特産品として生産量を確保する。
R 5 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人による生産量が増加傾向にある。個々の農業者には、継続的な栽培ができるように資材等の補助を実施した。 ・町内オリーブの生産については、継続的な栽培ができるように資材等の補助を実施した結果、目標を達成した。
R 5 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会による栽培技術指導により、生産量の拡大を図り、「湘南オリーブオイル」の地域団体商標を用いてのブランドイメージの向上に努める。 ・オリーブの生産性を高め、生産量の安定を図ることが必要である。
その他	－

施策に関連する主な事業の説明資料

事業名	有害鳥獣対策事業
事業概要	農業者や猟友会と組織した有害鳥獣対策協議会に補助金を交付し、農作物の防除に対し支援を図る。また、農業者が自己防除するために防除資材の購入費用を補助する。
R 5 実績	・町補助金による自主防除の支援を実施し、有害鳥獣対策協議会との連携より、大型有害鳥獣の捕獲や、広域柵の設置を行った。
R 5 課題	・有効な捕獲方法の検討及び、広域防護柵の設置個所の選定に努める。
その他	－